

平成28年 死亡災害発生事例

確定版

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
1 ・ 2	1月	1時	製造業 (金属製品製造業)	100～299人	銀粉製造時に発生する排水を処理する棟において、金属排水蒸発濃縮設備の洗浄作業中に爆発し、有毒ガスが噴出した。当該洗浄作業を行っていた2名が入院し、他の排水処理装置の運転管理を行っていた2名が死亡した。	爆発	化学設備
3	1月	2時	商業 (新聞販売業)	10～29人	原動機付き自転車に乗車して新聞を配達中、センターラインの無い直線道路を走行していたが、駐車中のトラックに接触して転倒し、そのまま対向車の乗用車に激突され全身強打のため死亡した。	交通事故	乗用車、バス、 バイク
4	1月	9時	建設業 (その他)	1～9人	焼却炉の解体撤去工事において、養生に使用する防災シートを張る作業を行っていた被災者が、作業場所の屋根の端部に仮置きされた防災シートを取りにくくするために屋根に上り、置き場に向かう途中、屋根の採光部分(FRP製)を通過してしまい、踏み抜き、10メートル下に墜落した。	墜落・転落	屋根、はり等
5	1月	20時	産業廃棄物処理業	30～49	ショベルローダーを用いて、産業廃棄物の燃え殻を汚泥ピットに投入する作業を行っていたところ、ショベルローダーとともに汚泥ピット(深さ約5.3m)に転落した。	墜落・転落	ローダー
6	1月	21時	ビルメンテナンス業	300～499人	警備業務研修として教育係の労働者とともに巡回警備業務を行っていた。地下にある排水処理施設の巡回のため、階段を下りていたところ、上から4段目でバランスを崩して前のめりで頭より転落し、頭部を強打した。搬送先の病院でその後に死亡した。	墜落・転落	階段、栈橋

平成28年 死亡災害発生事例

確定版

番号	発生日	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
7	2月	11時	建設業 (建築)	1～9人	高さ31メートルの立体駐車場等の解体工事現場において、粉じんの飛散養生等のため、立体駐車場の外周に設けた単管組みに、防音パネルを取り付ける作業を5名で行っていたところ、そのうちの1名が単管組みの水平材である単管上から約15メートル墜落した。	墜落・転落	その他の仮設物、建築物等
8	2月	9時	陸上貨物取扱業	10～29人	空のフレコンバッグの仕分けをする作業場で、フォークリフト運転者が空のフレコンバッグが入ったコンテナ(約110kg)5個を積み上げて仮置きした後、上4個を後方に運ぼうとフォークリフトで持ち上げたところ、コンテナがバランスを崩してフォークリフト前方に倒れ、仕分け作業を行っていた被災者の頭上にコンテナが落下した。	飛来、落下	フォークリフト
9	2月	9時	農業	1～9人	ゴルフ場内コース脇の立木(メタセコイア、高さ約25m)の伐木作業において、当該立木を斜面下方に伐倒したところ、偏心木(クヌギ、高さ約11m)に接触し、かかり木となった。被災者がチェーンソーを用いて、かかっている偏心木の伐倒作業を行っていたところ、かかり木の重量に偏心木が耐えられず、受け口付近から上方に向かって裂け折れ、折れた当該偏心木の先端が顔面に当たり、被災したものの。	激突され	立木等
10	2月	9時	製造業 (機械修理業)	1～9人	事業場に設置されたエレベータのメンテナンス作業を行うためにエレベータピット内に入ったところ、搬器が落下し、その下敷きとなったもの。	飛来、落下	エレベータ
11	3月	14時	製造業 (化学工業)	1～9人	当該事業場において、スレート製の屋根の張替作業を行っていたところ、スレートを踏み抜き、高さ約5.5メートル下のコンクリート製の床に墜落したものの。	墜落・転落	屋根、はり等

平成28年 死亡災害発生事例

確定版

番号	発生日	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
12	3月	9時	産業廃棄物処理業	1～9人	道路を4tトラックで走行中、反対車線を走行中の大型貨物自動車は中央分離帯を乗り越えて飛び出してきて正面衝突したものの。	交通事故 (道路)	トラック
13	4月	14時	製造業 (紙加工品製造業)	100～299人	製品を倉庫へ搬送するコンベヤの、不良品等を選別し別のコンベヤに送る箇所(床面から高さ2.68メートルのステージ上に設置)で、製品詰まりが発生した。被災者は梯子で当該ステージに登り、詰まっていた製品のうち1つを引き抜いたところ、製品詰まりのため作動途中で止まっていたプッシャー(選別した製品を別のコンベヤに押し出す装置)が再び作動して他の製品と共に被災者を押し、被災者はステージから床面に墜落した。	激突され	コンベヤ
14	4月	10時	建設業 (土木)	1～9人	積載型トラッククレーンからの荷卸作業に際し、後方を向いていたクレーンのブームを前方によけるために、職長がギアがバックに入っていると知らずクレーン操作のためエンジンキーを回したところ、トラックが不意に15cm程度後退した。その直後、トラックの後方で、後あおりが開いた状態で被災者が仰向けに倒れているのが発見された。	激突され	トラック
15	4月	17時	陸上貨物運送業	10～29人	被災者が荷積みを行うため、トラック(バンボディ)の荷台の扉を開けていたところ、近くでフォークリフトを運転していた労働者が、フォークリフトをバックさせたところ、被災者がフォークリフトとトラックに挟まれた。	挟まれ・巻き込まれ	フォークリフト
16	4月	3時	商業 (新聞販売業)	10～30人	原動機付き自転車に乗車して新聞を配達中、交差点に進入したところ、進行方向の左方から走行してきたトラックと衝突し被災した。入院療養中であったが、約3か月後に死亡したものの。	交通事故	乗用車、バス、バイク
17	5月	8時	陸上貨物運送業	10～29人	倉庫内において、フレコンバック(1.0t)をフォークリフトの爪を利用してつり上げ、トラックに荷積みしていた。トラック運転手は、爪が外れたことを確認せずにトラックを前進させたが、フォークリフトの爪がトラックの荷台上の荷物にかかった状態であったため、荷積み中のフォークリフトが転倒し、運転手が投げ出されフォークリフトの下敷きになったものの。	転倒	フォークリフト

平成28年 死亡災害発生事例

確定版

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
18	5月	7時	製造業 (化学工業)	100～299人	事業場が管理している川の土手(斜度約35度, 水面までの高さ約2.5メートル)で草刈りを行っていたところ、持っていた草刈り機ごと川へ転落して溺死した。	おぼれ	水
19	6月	10時	その他の卸売業	1～9人	ペットボトルを圧縮する機械の投入口で、加圧板に頭部と両腕を挟まれ被災したものの。	挟まれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械
20	7月	17時	陸上貨物取扱業	100～299人	立ったまま運転するフォークリフト(リーチ式)を用いて荷物の整理を行っていたところ、フォークリフトの操作台とフォークリフトの後ろに設置されていた棚の間に背中から挟まれ、胸などを強く打って死亡したものの。	挟まれ・巻き込まれ	フォークリフト
21	7月	9時	建設業 (その他)	10～29人	倉庫の解体工事において、被災者は鋼板葺きの屋根上にて親綱を張ろうとしたところ、屋根が破損して約4.6m下の土間コンクリートに墜落、頭部を強打して死亡したものの。	墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌
22	8月	11時	陸上貨物運送業	50～99人	高速道路を時速70キロメートルで走行していたところ、前方の渋滞に気づくのが遅れ、追突す前にブレーキを踏んだが、間に合わず前方の大型トラックに時速60キロメートルで追突したものの。	交通事故 (道路)	トラック
23	8月	19時	陸上貨物運送業	10～29人	配送先の駐車場でトラックから荷降ろし作業をしていたところ、サイドブレーキをかけていなかったこと等から、当該トラックが自然と後退し、これを制止しようとして車両の後部に入り込んだ結果、後方の建物に設置された車両衝突防止用のポールとの間に挟まれたものの。	挟まれ・巻き込まれ	トラック

平成28年 死亡災害発生事例

確定版

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
24	9月	12時	製造業 (その他)	30～49人	冷凍庫の電動扉(引戸式の鋼製扉)の外側で被災者が台車の整理をしていたところ、これを知らずに他の労働者が冷凍庫の内側から電動扉をロープスイッチで開扉したため、被災者は、その扉と柱の間に上半身を挟まれ、病院搬送後に死亡した。	挟まれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械
25	10月	1時	製造業 (紙加工品製造業)	100～299人	段ボールを打ち抜きする機械の付属設備であるリフター(製品が設定数量になると外へ自動排出するための昇降機)内に、被災者が立ち入って作業中、当該機械の担当者の1人が運転ボタンを押したため、リフターが上昇し被災者の頭部が機械底部に挟まれたもの。	挟まれ・巻き込まれ	エレベータ、リフト
26	10月	12時	陸上貨物運送業	30～49人	渋滞中の道路で停車中だった被災者が運転する中型トラックへ、後方から走行してきた大型トレーラーが追突し、前方に停車していた大型トラックとの間に挟まれ、中型トラックを運転していた被災者が死亡したものの。	交通事故 (道路)	トラック
27	11月	14時	鉱業	10～29人	破碎した石灰石が入っている貯蔵槽の排出口が詰まったため、被災者が貯蔵槽の内部に入って固まった部分を金属の棒でつついていたところ、被災者の足下が崩れ、被災者が貯蔵槽内部の石灰石に埋没したものの。	崩壊、倒壊	石、砂、砂利
28	11月	9時	製造業 (機械修理業)	1～9人	油圧式エレベーターの修理依頼を受けて、被災者が単独で昇降路内に入り修理作業を行っていたところ、搬器が降下してピットと搬器に挟まれ死亡したものの。	挟まれ・巻き込まれ	エレベータ、リフト
29	11月	10時	建設業 (その他)	10～29人	会社事務所(埼玉県外)から工事現場(埼玉県内)へ移動するため、作業員2名がトラックにて高速道路を走行中、前方で交通事故の車輛撤去作業をしていたレッカー車に追突し、運転者が死亡、助手席の同乗者が胸部等を負傷した。	交通事故 (道路)	トラック

平成28年 死亡災害発生事例

確定版

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
30	11月	12時	商業 (新聞販売業)	50～99人	営業のため、停止線と信号機がない四差路の交差点をバイクで走行中、進行方向左から進行してきた乗用車に衝突されたもの。	交通事故 (道路)	乗用車、バス、 バイク
31	12月	17時	産業廃棄物処理業	50～100人	産業廃棄物処理プラントの集塵機で、機器の異常に対処するため単独で作業中、下部に集積した塵埃を排出口に送り込む2本のスクリーコンベヤに巻き込まれたもの。	挟まれ・巻き込まれ	コンベヤ
32	12月	12時	建設業 (その他)	1～9人	解体作業で出たスクラップ資材を積み込むため、4トントラックが現場敷地内にバックで入ってきたところ、現場敷地内車両入場口付近で横になっていた被災者が左後輪で轢かれ、被災したもの。被災者は休憩時間中であったため、現場敷地車両入場口付近で休憩していたものと推定される。	挟まれ・巻き込まれ	トラック